

検証意見書



2023年7月12日
意見書番号：SGS23/088

YKK 株式会社
東京都千代田区神田和泉町 1
代表取締役社長
大谷 裕明 様

検証目的

SGSジャパン株式会社（以下、当社）は、YKK株式会社（以下、組織）からの依頼に基づき、組織が作成した検証対象（以下、GHG等に関するステートメント）について、検証基準（ISO14064-3:2019及び当社の検証手順）に基づいて検証を実施した。本検証業務の目的は、組織の対象範囲にかかるGHG等に関するステートメントについて、判断基準に照らし適正に算定・報告されているかを独立の立場から確認し、第三者としての意見を表明することである。GHG等に関するステートメントの作成及び公正な報告の責任は組織にある。

検証範囲

検証対象は、Scope1 及び Scope2、エネルギー消費量、Scope 3 である。
対象期間は 2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日である。
詳細な検証対象範囲は別紙参照。

検証手順

本検証業務は、検証基準に則り、限定的保証水準にて次の手続きを実施した。

- 算定体制の検証：検証対象の測定・集計・算定・報告方法に関する質問、及び関連資料の閲覧
- 定量的データの検証：黒部工場、黒部牧野工場の現地検証及び証憑突合、本社でのその他検証対象範囲に対する分析の手段及び質問

判断基準は、温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル（Ver. 4.6）、サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン（Ver. 2.4）、GaBi（2021 年版）、サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース（Ver. 3.1）、IDEA（Ver. 2.3）及び組織が定めた手順を用いた。

結論

前述の要領に基づいて実施した検証手続の範囲において、組織のGHG等に関するステートメントが、判断基準に従って、算定及び報告されていないと認められる重要な事項は発見されなかった。
なお、当社は、組織から独立しており、公平性を損なう可能性や利害の抵触はない。

SGSジャパン株式会社

神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町 1 3 4
横浜ビジネスパーク ノーススクエア I
認証・ビジネスソリューションサービス
経営委員会メンバー
認証・認定統括責任者

竹内 裕二

別紙

2023年7月12日
意見書番号：SGS23/088

検証対象範囲の詳細

検証対象		検証範囲	GHG等に関するステートメント
1	Scope1, 2 (エネルギー起源) 及びエネルギー消費量	組織及び連結会社 67 社 97 サイト及び厚生施設に関わる 1 集計単位 (国内：12 社 16 サイト及び厚生施設に関わる 1 集計単位、海外：55 社 81 サイト) ※非生産拠点 40 サイトを含む ※YKK AP株式会社及びその関係会社は含まない	Scope1 : 87,238 t- CO ₂ Scope2 : 363,984 t- CO ₂
2	Scope3 (カテゴリー1)	ファスニング事業 ※原材料、部品、副資材に限る	481,652 t- CO ₂
3	Scope3 (カテゴリー2)	組織の連結対象範囲 ※YKK AP株式会社及びその関係会社は含まない	59,268 t- CO ₂
4	Scope3 (カテゴリー3)	組織及び連結会社 67 社 97 サイト及び厚生施設に関わる 1 集計単位 (国内：12 社 16 サイト及び厚生施設に関わる 1 集計単位、海外：55 社 81 サイト) ※非生産拠点 40 サイトを含む ※YKK AP株式会社及びその関係会社は含まない	59,434 t- CO ₂